

評価者	教育部長	佐々木 聡
-----	------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実
目標とすべきまちの姿	生涯学習センター、図書館など本市の生涯学習施設が充実し適正に整備され、利用しやすい魅力ある施設となっています。また、市民が自らの学習内容にあわせて、本市の生涯学習施設、関係機関、学校、民間施設などを効果的に活用することができるなど、学習の場が十分に確保されています。毎年、多くの市民が生涯学習センターを利用し、自らの興味関心によって自発的に学習する習慣が広がっています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	17.9%	平成30年度(2018年度)	14.7%	平成29年度(2017年度)	17.2%
	平成28年度(2016年度)	14.6%	平成27年度(2015年度)	17.5%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.4%	1.6%	0.2%
	ちょうどよい	4.5%	46.4%	1.1%
効果不十分	4.2%	4.8%	11.2%	

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.8%	1.7%	0.7%
	ちょうどよい	3.5%	50.9%	1.5%
効果不十分	4.0%	4.5%	12.2%	

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	2.8%	0.7%	0.4%
	ちょうどよい	4.6%	50.3%	1.4%
効果不十分	5.1%	2.5%	10.2%	

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

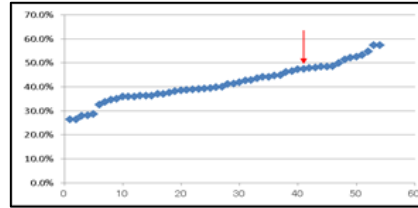
仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.8%	1.6%	0.2%
	ちょうどよい	5.2%	51.7%	1.2%
効果不十分	4.8%	2.8%	11.4%	

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

仕事の効果	お金の使い方			
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
	必要以上の効果	2.1%	1.7%	0.0%
	ちょうどよい	5.3%	47.5%	1.1%
効果不十分	5.4%	3.4%	10.3%	

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	22.4%	47.8%	4.6%	25.1%
平成30年度(2018年度)	25.6%	49.8%	5.5%	19.2%
平成29年度(2017年度)	20.2%	51.0%	6.5%	22.3%
平成28年度(2016年度)	21.3%	52.0%	6.7%	19.9%
平成27年度(2015年度)	20.7%	50.8%	5.2%	23.3%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ① 鎌倉生涯学習センターの耐震改修工事を計画的に進め、令和2年(2020年)の開館に向けた準備を滞りなく行う。(教育-13)
- ② 近代史資料室について、早期により多くの近代史資料を市民が活用できるデータの公開等に取り組む。(教育-38)
- ③ 図書館に関する市民ニーズに合った図書館の運営体制の検討を進める。(教育-39)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ① 生涯学習施設の適切な管理を行い、利用しやすく快適な学習環境を提供することで、多くの市民が自らの興味関心にそった学習の機会に恵まれ、自発的に学習する習慣を広めることができる。(教育-12、13、39)
- ② 近代史資料室の体制を整備することで、市民が自らの学習内容にあわせて効果的に資料を活用できるようになる。(教育-38)
- ③ 市民ニーズに合った図書館の運営体制を確立することによって、市民が利用しやすい魅力ある施設とすることができる。(教育-39)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
教育-12	吉屋信子記念館管理運営事業	3,021	2,055	0.3	1.1	無	b	B
教育-13	生涯学習センター管理運営事業	150,491	159,200	4.7	5.1	無	a	B
教育-38	市史編纂事業	2,185	2,242	0.2	0.2	無	a	B
教育-39	図書館管理運営事業	146,042	142,332	22.8	21.8	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ① 生涯学習センターは、管理業務補助嘱託員の配置や生涯学習センターの運営に必要な総合管理、各所修繕や生涯学習ネットワークシステムの保守管理、各所修繕など、施設の維持管理を行いながら学習環境の場を提供した。(教育-13)
- ① 鎌倉生涯学習センターの耐震改修工事に着手した。(教育-13)
- ② 市史の編纂に伴い、歴史的公文書候補文書を回収するとともに文書内容の確認選別を行った。(教育-38)
- ② 執務室のレイアウト変更を実施し、歴史的公文書仕分けのための作業スペースを確保した。(教育-38)
- ③ 休館日及び開館時間を令和2年(2020年)4月から変更することを決め、準備を行った。(教育-39)
- ③ 第3次鎌倉市図書館サービス計画・第3次子ども読書活動推進計画を推進した。(教育-39)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・生涯学習センター及び図書館について、非常勤嘱託員を活用した運営を行ったことから、効率性を適切と評価した。(教育-13)(教育-39)
- ・歴史的公文書選別について、中央図書館事務室のレイアウト変更による仕分けスペースの確保を行い、工夫しながら作業を進めることができたため、妥当性を適切と評価した。(教育-38)
- ・図書館の効率化とサービス向上に向け、図書館の月曜日休館、開館時間延長について検討したため、有効性を適切と評価した。(教育-39)
- ・鎌倉生涯学習センターが耐震改修工事により休館となっているが、代替施設として地域館や同等施設の利用についての案内を行い、活動の場の確保を図ったことから、公平性を適切と評価した。(教育-13)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	教育-13	事業名	生涯学習センター推進事業					単位	千人	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	学習センター利用者数											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	耐震改修工事による施設の一部使用休止のため、目標値を変更した。				
生涯学習の振興状況を測るため	目標値	580.0	585.0	590.0	595.0	600.0	285.0					
	実績値	627.0	560.0	535.0	539.0	473.0	258.0					
	達成率	108.1%	95.7%	90.7%	90.6%	78.8%	90.5%					

整理番号	教育-39	事業名	図書館管理運営事業					単位	点	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	個人貸出点数											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	3月4日～31日全館休館。臨時窓口での貸出しの対応。				
蔵書の充実を図り、多くの市民に図書館を使用してもらうため	目標値	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000					
	実績値	1,382,363	1,411,599	1,349,752	1,332,565	1,325,723	1,202,662					
	達成率	92.2%	94.1%	90.0%	88.8%	88.4%	80.2%					

整理番号	教育-39	事業名	図書館管理運営事業					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	来館者数(平成30年度(2018年度)よりカウント開始)											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	3月4日～31日全館休館。臨時窓口での貸出しの対応。				
図書館への来館目的は、館内閲覧、利用者用インターネットの利用など、貸出を伴わないことも多いため	目標値	-	-	-	-	850,000	860,000					
	実績値	-	-	-	-	853,311	754,442					
	達成率	-	-	-	-	100.4%	87.7%					